

平成22年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年8月5日

上場会社名 シナジーマーケティング株式会社 上場取引所 大
 コード番号 3859 URL <http://www.synergy-marketing.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)谷井 等
 問合せ先責任者 (役職名)管理部長 (氏名)吉田 憲史 TEL (06)4797-2300
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月13日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第2四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第2四半期	1,320	-	207	-	214	-	91	-
21年12月期第2四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第2四半期	22.88	-
21年12月期第2四半期	-	-

(注) 当社は、平成21年12月期第2四半期の連結財務諸表を作成していないため、平成21年12月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第2四半期	1,656	1,298	76.6	318.55
21年12月期	1,671	1,223	70.9	296.80

(参考) 自己資本 22年12月期第2四半期 1,268百万円 21年12月期 1,185百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	-	-	-	7.00	7.00
22年12月期	-	0.00	-	-	-
22年12月期(予想)	-	-	-	8.00	8.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,828	30.4	459	15.3	465	15.5	241	11.2	60.36

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は【添付資料】P. 4「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

22年12月期2Q	3,999,200株	21年12月期	3,999,200株
22年12月期2Q	16,200株	21年12月期	5,200株
22年12月期2Q	3,986,658株	21年12月期2Q	19,996株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

(注) 平成21年7月1日をもって当社普通株式1株を200株に分割いたしました。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第2四半期連結累計期間】	7
【第2四半期連結会計期間】	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成22年1月1日から平成22年6月30日まで）におけるわが国経済は、景気対策等により、企業業績に回復の兆しが見られるものの、内需の本格的な回復には至らず、個人消費については依然として、冷え込んだ状態が続いています。

当社が属するインターネット市場は、利用人口こそ飽和状態を迎え、増加に鈍化がみられますが、ブロードバンド回線の高品質化や携帯電話を使った高速通信等、インターネットを取り巻く環境は日々変化しております。特に、インターネット環境の向上に伴い、自前でシステムを構築することなく、低いコストで高いセキュリティを実現できるクラウドサービスに注目が集まっています。

このような状況の中、当社においては、クラウドサービスへの注目の高まりや、昨年行ったセールスパートナー制度の見直しが奏効し、主力サービスSynergy!の売上が順調に推移しました。

また、昨年7月に子会社化した株式会社ビーネットでは、当社と一体となり受注業務の効率化等を進めた結果、ECショップ向けの売上が順調に増加しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,320,048千円、営業利益は207,178千円、経常利益は214,080千円となり、四半期純利益は91,197千円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次の通りであります。

① クラウドサービス事業

クラウドサービス事業は、昨今のクラウドサービスに対する関心の高まりを背景に、主力サービスSynergy!の低コストで導入可能な利点を訴求し、企業の経費削減のニーズを取り込んだ営業活動を展開し、新たな顧客の開拓に努めました。

以上の結果、売上高は499,249千円、営業利益は188,615千円となりました。

② エージェント事業

エージェント事業は、当社クラウドサービスを利用している既存顧客に対して、システム開発やメール配信代行、広告代理等の受託業務の提案を行っており、売上高は339,889千円、営業損失は9,253千円となりました。

③ eホールセール事業

eホールセール事業は、連結子会社である株式会社ビーネットがECショップ向けに商品の卸売りを行う事業であり、売上高は480,909千円、営業利益は30,248千円となりました。

なお、当社グループは、第1四半期連結会計期間から事業の種類別のセグメント名称を変更しており、変更後のセグメント名称により記載しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて59,875千円減少し、703,097千円となりました。これは受取手形及び売掛金が41,972千円減少したこと、仕掛品が16,807千円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて44,385千円増加し、953,108千円となりました。これは、投資有価証券が時価の回復により43,527千円増加したことなどが要因であります。

この結果、総資産は、1,656,205千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて74,032千円減少し、314,078千円となりました。これは、未払法人税等が32,315千円、支払手形及び買掛金が26,492千円減少したこと、本社移転に備えて本社移転費用引当金を30,000千円計上したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて16,000千円減少し、44,000千円となりました。これは、長期借入金16,000千円を1年内返済予定の長期借入金に振替えたことによります。

この結果、負債合計は、358,078千円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて74,541千円増加し、1,298,126千円となりました。これは、主に利益剰余金が63,239千円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年12月期の通期の連結業績予想につきましては、平成22年2月10日公表の業績予想を据え置いております。今後の業績推移に応じて、修正の必要が生じた場合には速やかに公表いたします。

